

令和5年度 文京区立林町小学校 授業改善推進プラン

1年

教科	指導上の課題の分析	授業改善の具体的な方策	評価（成果と課題）
国語	<ul style="list-style-type: none"> ○平仮名の発音や読み書き、基本的な文章の読み取りは概ね達成している。(平均90%以上) ○平仮名の定着や、文章を書くこと、話すこと・聞くことに課題がある児童がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○カタカナ・漢字の学習を1文字ずつ丁寧に進めるとともに、ひらがなの確認も併せて行い、知識・技能の定着を図る。 ○教科書の教材だけでなく、児童が意欲的に文章を書けるようなテーマを考えたり、日常的に文章を書く活動を設定したりして、書く力の向上を目指す。 ○話すとき・聞くときのポイントを全体でしっかり確認するとともに、練習やリハーサルの時間を十分にとり、児童が自信をもって話せたり、集中して聞いたりすることができるようにする。 	
算数	<ul style="list-style-type: none"> ○学習の基礎的な内容については、約97%の児童が理解できている。一方、文章題を理解し解決する力の個人差が顕著である。 	<ul style="list-style-type: none"> ○デジタル教科書のムービーなどを活用して、内容を明確にすることで、問題の文意を捉えることができるようにする。 ○文章題を自作することで、既習の内容が定着するように支援する。 ○算数の用語や既習事項を使うなど、考えを伝えるスキルを身に付け交流させる。友達との考えの共有を通して、思考する習慣を身に付けられるようにする。 	

生活	<p>○生活科見学で植物を見付けたり、アサガオなどの観察をしたりすることは意欲的に取り組むが、絵や文章で的確に表現する力がまだ十分ではない児童がいる。</p>	<p>○観察する際には、葉の形、色、大きさ、手触りなどの着目する観点を示したり、時間を十分に確保したりすることで、細かい点に気付かせ、丁寧に記録できるようにする。</p> <p>○気づきを共有、可視化することで、今後の観察の仕方の幅を広げようとする。</p>	
図工	<p>○興味・関心をもって意欲的に活動に取り組むことができるが、発想の広がりという点では個人差が大きい。自由に表現することが難しい児童もいる。</p>	<p>○活動中に良い発想や工夫を紹介し、学級全体へと広げ、つまづいている児童へのヒントとなるようにする。</p> <p>○引き続き、絵画や造形の活動を楽しみと思えるように、題材との出会わせ方や声かけを工夫する。</p>	
体育	<p>○意欲的に取り組める児童が多いが、自分にはできないと思うと消極的になり、勝負に負けると気持ちの切り替えができないなどの様子が目立った。</p>	<p>○結果ではなく過程を認める声かけを増やし、自信へとつなげていく。</p> <p>○運動の得意不得意にかかわらず、体を動かすことを楽しめるように、各種の運動遊びの行い方を工夫する。</p> <p>○勝敗がすべてではないことや、失敗から学んだことを次に生かすことが重要であると伝えていく。</p>	